

野生いのししの死体を処理する際の豚熱拡散防止対策について

次の豚熱拡散防止対策について、可能な限り御協力をお願いします。

なお、豚熱ウイルスには、消石灰等のアルカリ性消毒剤、次亜塩素酸ナトリウム、エタノール、逆性石鹼が有効です。

1 死体を発見場所から移動させる場合

- (1) 消毒薬の噴霧により死体を消毒する。
- (2) 厚手のビニール袋やブルーシートで包み、血液や糞便等が漏れないようにする。
- (3) (2) の表面を消毒し、運搬する。



2 死体を埋却する場合

野生動物の掘り返しや風雨等による死体の露出を防ぐため、次の手順で埋却する。

(写真は消石灰を使用していますが、他の消毒薬でも構いません。)



1) 穴に消石灰を入れる



2) 死体を入れて、消石灰をまく



3) 土で埋却する



4) 埋却後、表土に消石灰をまく

3 捕獲場所周辺の消毒

死体の発見地点の半径 1 m の範囲に消毒薬を噴霧（携帯噴霧器等）
又は消石灰を散布する。



4 死体の処理後に実施すること

- (1) 手指の洗浄を行う。(死体を触る際は、使い捨ての手袋を使用するのが望ましい。)
- (2) 使用した道具を洗浄・消毒する。
- (3) 使用した車両のタイヤ回りを洗浄・消毒する。
- (4) 使用した靴の靴底を洗浄・消毒する。
- (5) 養豚施設への立入を自粛する。